



## 「日中植林・植樹国際連帯事業」 2019年度中国高校生訪日団第1陣の来日について

「日中植林・植樹国際連帯事業」(\*)の一環として、2019年度中国高校生訪日団第1陣250名が9月3日から9月11日まで来日することとなりました。本事業は、中国の高校生を訪日招聘し、植樹活動をはじめ、環境保護や防災に関するセミナーや関連施設の視察、高校訪問など交流の場を通じて、日本の環境保護・防災対策に関する知識を深め、日本の高校生や市民との親睦を深めるほか、日本の政治・経済・社会・歴史・先端産業・伝統産業・文化等が体感できるような施設や、地方都市の参観を通じて、日本についての多面的な理解、日中両国青少年間の友好を促進することを目的としています。

是非、貴紙/誌にてお取り上げ下さいますようお願いいたします。

### \*「日中植林・植樹国際連帯事業」とは

日本へ飛来し得る黄砂等の中国の環境問題への対処、青少年等の交流を通じた環境及び防災意識の啓発と対日理解の一層の促進、砂漠化防止等への貢献を図ることで、中国との関係改善の流れを強化し、国際社会の課題に対処することを通じて「戦略的互恵関係」の強化につなげていくことを目的とする。

2019年度は、重点分野として「3つの架け橋」(1) 地方間交流、(2) 青少年交流、(3) 文化・スポーツ交流) を対日理解促進のテーマとした約1,600人規模の交流(招聘)を実施する。

また、2018年10月の安倍総理訪中時に、日中両国政府は2019年を「日中青少年交流推進年」とし、今後5年間で3万人規模の青少年交流を実施することを発表。本訪日団はこの一環として、日中両国青少年の友好を促進することが期待される。

### 記

#### 1. 訪日団概要

[時期] 2019年9月3日(火)～9月11日(水) 8泊9日間 [人数] 250名  
[実施団体] 公益財団法人 日中友好会館 [派遣団体] 中国教育部  
[訪問地] 東京・茨城・宮城・愛知・千葉・神奈川・広島・熊本・長崎・群馬・京都・兵庫  
[主な活動内容]

- ・高校訪問(日本高校生との交流会、授業参加、環境・防災学習、部活動参加等)  
東洋大学附属牛久高等学校、茨城県立土浦湖北高等学校、茨城県立水戸商業高等学校、相模女子大学高等部、宮城県富谷高等学校、至学館高等学校、植草学園大学附属高等学校、広島県立加計高等学校、熊本県立天草拓心高等学校、長崎県立口加高等学校、群馬県立尾瀬高等学校、京都府立海洋高等学校、千代田区立九段中等教育学校、東京都立総合工科高等学校、昭和女子大学附属昭和高等学校、兵庫県立三木高等学校
- ・植樹活動(主に各高校にて)
- ・テーマ(防災)に関するセミナー、防災・環境施設の視察  
セミナー：テーマ「命を守る防災」  
国立研究開発法人防災科学技術研究所、しながわ防災体験館、東京臨海広域防災公園、松島復興語り部クルーズ、震災遺構 仙台市立荒浜小学校、わくわく座・熊本城、土石流被災家屋保存公園、雲仙岳災害記念館、神戸港震災メモリアルパーク、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター  
有明水再生センター、かわさきエコ暮らし未来館、中央清掃工場、大田清掃工場
- ・その他、日本に対する包括的理解促進につながるプログラム等

#### 2. お問い合わせ

公益財団法人 日中友好会館 総合交流部 担当：近藤、樋口  
住所：〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3 TEL：03-5800-3749 FAX：03-5800-5472

※取材を希望される場合、事前に上記担当までご連絡ください。

なお、訪問先・プログラムの都合により、取材を制限させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

以上